

びふか

# 議 会

びふか  
です  
こんにちは

2003 / 1

第44号

この議会広報誌は再生紙を使用しています



## 明るく育て “びふかの子”

幼保合同発表会 11月7日 COM100にて

主 な 内 容	第4回定例会 ~ 条例 ~	2 ~ 3 P
	補正予算	4 P
	函岳のめ	5 P
	平成13年度各会計決算の認定	6 P
	平成13年度水道事業会計決算の認定・請願・意見書	7 P
	一般質問 9氏が登壇	8 ~ 13 P
	委員会レポート	14 ~ 15 P
	議員投稿 山崎議員	
	私からのメッセージ 本平 征行さん・菅野みづえさん	16 P

# 第4回定例会

## 職員給与2・03%減

### 町長・特別職・議員の手当も

平成14年第4回定例会は、12月16日から19日の4日間開催され、町長、特別職、職員給与の改正、議員報酬の改正等、条例の一部改正8件、制定1件、廃止1件、補正予算6件が審議され、いずれも原案どおり可決した。  
また、平成13年度各会計の決算も認定された。  
一般質問には、9人が登壇し、市町村合併問題、農業問題、幼保一元化等の教育問題等について論戦が展開された。

#### 条例

職員給与に関する条例の一部改正

〔14年度分〕

基本給の2・03%（平均）引き下げ。

3月1日基準日期末手当

の0・05月引き下げ。

扶養手当の配偶者2、0

00円の引き下げと、そ

の他の扶養者2、000

円の引き上げ。

特例一時金の廃止。

〔15年度分〕

期末手当と勤勉手当の見

直し。

企業職員の給与の種類

及び基準に関する条例の一

部改正

〔14年度分〕

特例一時金の廃止。

〔15年度分〕

3月1日基準日期末手当

（0・5月）の廃止。

美深町長等の給与に関

する条例の一部改正

〔14年度分〕

3月1日基準日期末手当

の0・05月引き下げ。

〔15年度分〕

3月1日基準日期末手当

（0・5月）の廃止。

6月1日基準日期末手当

の0・1月引き上げ。

12月1日基準日期末手当

の0・15月引き上げ。

この結果、15年度から実

質0・25月の削減となる。

議会の議員の報酬及び

費用弁償等に関する条例の

一部改正

議員の期末手当の見直し。

改正内容は、美深町長等の

給与に関する条例の一部改

正と同じ。



人勤初の本俸減額にショックも



理事者による提案説明

#### 第4回定例会 制定・改正・廃止 された条例

職員給与に関する  
条例の一部改正

企業職員の給与の種  
類及び基準に関する  
条例の一部改正

美深町長等の給与に  
関する条例の一部改  
正

議会の議員の報酬及  
び費用弁償等に関す  
る条例の一部改正



質問に耳を傾ける傍聴者

美深町北海道営草地整備改良事業等分担金徴収条例の一部改正

畜産環境整備特別対策事業の完了に伴い、15年度から事業計画中の北海道担い手育成草地整備改良事業に改めるもの。

質問 事業名の変更だが、事業内容と受益者負担はどうか。  
産業課長 担い手育成事業は草地造成が主な内容。  
受益者負担は、パワーアップの対象は従来どおり5%負担、それ以外は25%負担となる。

暗渠排水はパワーアップ

の対象で、受益者の理解を得ながら事業を進めたい。  
質問者は山崎議員

美深スキー場設置及び管理条例の一部改正  
スキー場の利用時間短縮に伴い、リフトのシーズン券料金を引き下げるもの。

質問 利用者が減少したところによる利用時間の短縮と思われるが、利用率を上げる努力とその対策をすべきではなかったか。

教育長 人口減に伴い、スキーヤーも減っており、利用減となったのは事実。  
体育振興を図る意味から利用増を図りたいが、良いアイデアがみつからないのが実態です。

質問 時間短縮をするなら、当然、予算も減額すべきではないか。

教育次長 当然、時間短縮により燃料費等が軽減される。

最小の経費で効率的な運営に努めたい。

質問 小中高生の利用を増やす意味から、小中高生を無料とする考えはないか。



利用者増が望まれるスキー場

町長 スキー場に限らず、公共施設の利用については、適切な負担をしていただくとの考えに変わりはなく、料金据え置きも考えたが、利用時間を短縮するのだから、関係団体の要望もあり引き下げとした。

スキー場の利用料については、体育振興という面からも議論が必要で、無料化は今後の課題と思う。

質問 将来、スキー場が閉鎖するのでは、との危機感もある。

スキー場を継続していくため、運営方法等について、

関係団体と協議していく必要があるのでは。  
教育長 体育振興の観点からスキー場を続けて行くべきだと考えている。

スキー場の運営について、関係団体と協議しながら進めたい。

質問者は山口、藤守、諸岡、菅野、越智議員。

美深町じん芥焼却炉施設設置及び管理条例の廃止  
ダイオキシンの排出規制により、焼却炉が基準に適合しなくなったため、施設を廃止することによる条例の廃止。

質問 焼却炉跡地のダイオキシン及び雨水対策はどのように考えているのか。

住民課長 焼却炉解体前に、ダイオキシンも含め周辺の環境調査を行う予定。  
雨水対策や閉鎖に伴う進入防止処置等、安全対策も実施する。

質問者は諸岡議員

平成14年度における寒冷地手当の額の特別に関する条例の制定

美深町税条例の一部改正

美深町国民健康保険税条例の一部改正

美深町北海道営草地整備改良事業等分担金徴収条例の一部改正

美深スキー場設置及び管理条例の一部改正

美深町じん芥焼却炉施設設置及び管理条例の廃止

ホームページアドレスが

**変更**に!

「議会ですこんにちは」のホームページアドレスが下記に変更されました

新しいホームページアドレス

<http://www.town.bifuka.hokkaido.jp>



# 補正予算

## 冷害対策、厚生病院補助で議論

### 一般会計

主な内容は、職員給与の減、厚生病院損失補助金、冷害対策の気象災害対策補助金、森林整備支援交付金等の追加、個店近代化事業の14年度確定に伴う減など。

質問 厚生病院の運営について、薬剤の購入費を軽減する方法があるのでは。



審議の結果 全会一致

町長 薬剤の購入価格について、厚生病院運営協議会では話題となっていない。今後の検討課題となり得るかもしれない。

質問 冷害対策として、気象災害特別対策事業補助金(868万円)が組まれているが、これで来年の営農活動は心配ないのか。

産業課長 農協とも協議し、この補助金を予算化した。資金対策としては、46戸で総額8490万円の申し込みを受け、現段階では十分との判断をしている。

質問 職員の援農作業を実施したが、その評価は。

総務課長 5日間で延120人出動した。質問者は、山口、山崎、諸岡、藤守、今泉、林、村山議員。

### 国民健康保険会計

医療制度改正に伴う医療費拠出金1220万8千円減等により、総額6億1201万2000円となった。

### 介護保険特別会計

保険事業勘定で、総務管理費374万9000円を追加し、総額4億4354万1000円となった。

サービス勘定では、施設管理費を95万2000円追加、居宅介護支援事業費を3万6000円減額し、総額2億6183万4000円となった。

### 簡易水道特別会計

人事異動による一般職給料の追加165万7000円等により、総額5382万円となった。



近代化で新装になった店舗

### 下水道特別会計

人事異動、給与改正等により230万円を減額し、総額2億7342万1000円となった。

### 水道会計

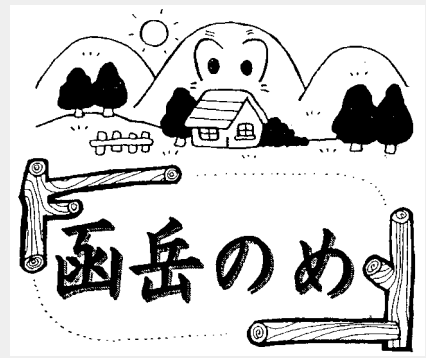
収益的支出の水道事業費用は、人件費等で50万2000円追加し、総額8622万円となった。

資本的支出は、営業設備費を86万6000円減額し、総額3050万2000円となった。他会計より補てんする資本的収入の不足額は、224万1000円となる。

## 議員の 資質向上へ 政務調査費報告 まとまる

政務調査費は、報酬・費用弁償・期末手当に次ぐ第四の経費であり、「地方自治法の一部を改正する法律」が可決成立し、政務調査費に関する事項は、第100条に規定され平成13年4月1日施行された。

議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として、会派又は議員に対し政務調査費を交付する規定。わが町を取り巻く状況は地方分権の推進、市町村合併問題、行財政の改善、少子高齢化の進展、保健、福祉、教育、産業基盤の整備など課題解決の為、議員の責務も重大である。情報公開を促進しつつ、その透明性を確保するなか「政務調査費は制度化すべきもの」との特別委員会調査結果が報告された。



# やま場を迎える 市町村合併問題

広報「びふか」12月号に、  
どうなっている市町村合併  
と題して特集が掲載された。  
町では以前より「市町村  
合併を考える集い」等を開

催し、情報公開に努めてき  
たが、町民の中には「まだ  
まだ説明不足だ」との意見  
があり、議会報でも再度、  
合併問題を取り上げること  
とした。

11月8日に行われた美深、  
音威子府、中川の合併問題  
の協議について「合併断念」  
との新聞記事が掲載された。  
この記事に関して町長は、  
真意が伝わっていないと不  
快感を表した。

このようになった背景に  
は、中央での市町村合併論  
議が大きく影響している。  
政府の諮問機関で、地方  
自治のあり方について議論  
している地方制度調査会が、  
小規模町村については、強  
制合併か権限縮小するとの  
案を11月1日に発表した。

この案では、小規模町村  
について数字的な明言はな  
いが、人口1万人以下とな  
るとの見方が浮上した。

美深、音威子府、中川の  
人口は合計すると約930  
0人、合併しても小規模町  
村とされてしまう。

そこで町長は「合併につ  
いては、中央の動向を見な  
がら、もっと広い範囲での



市町村合併に関する研究会 (12/27)

検討も必要だ」との3町村  
の見解を記者会見で述べた。

それが、「合併断念」と  
の新聞記事となったようだ。  
11月1日以降、全国町村  
会および議長会が地方制度  
調査会の案に対して猛烈な  
反対を表明、現在し烈なせ  
めぎ合いが展開されている。

町では12月末に下川・風  
連を加え、4町1村で協議  
を進めることとなった。

現在、町議会では市町村  
合併に関する研究会を発足、  
地方制度調査会案の粉砕と、  
町民への説明責任を果たす  
べきとの認識で一致。

合併問題は今年、やま場  
を迎えることになる。

## 智恵と工夫でゴミ処理を

私達は日常生活をより豊  
かに、より便利に、より快  
適にとその生活文化の向上  
を求め続けて今日まで来た。  
しかし、その代償として、  
厄介な塵芥という代物を処  
理しなければならぬ羽目  
になった。

美深町民は、広大な大地  
に安住し大気汚染や環境汚  
染など、あまり身近な問題  
として捉えられない状況下  
にあるが、身の回りを見渡  
してみると、日常の塵芥は  
昨今ゴミステーションから  
あふれ出ている現状がみ  
られ他人事ではなく、もはや  
ゴミと係わらずに生きてい  
くことができない時代になっ  
た。

国は廃棄物・リサイクル  
対策として法律を制定し  
消費者の役割 市町村の役  
割 事業者の役割を明確に  
してきた。

今日、町ではゴミ処理の  
ために年間約9千500万  
円(一人当たり1万7千円、  
一世帯当たり4万円)自主財  
源4億円の4分の1が投じ

られ、15年度はさらに増え  
ることが間違いない。

4月からは新たな分別が  
始まるが、つくし団地の一  
角では住民の発想で快適に  
ゴミ処理できる方法を模索。  
自主的にゴミ袋に名前を  
入れ責任を明らかにしゴミ  
の減量化に努め「大切な財  
源」「美しい自然」を守る  
使命に燃えている地域もあ  
ることを知り、環境問題・  
ゴミ問題の解決には住民参  
加が不可欠であることを痛  
感。

みんなの知恵と工夫で苦  
にならないゴミ処理ができ  
る年でありたい。



正しい分別でリサイクルを!!



# 各会計総額

# 81 億円

## 平成13年度 決算を審査・認定

第3回定例会において設置、付託された「決算審査特別委員会」（委員長 諸岡 勇）が11月5日から7日までの3日間にわたり開かれ、総額81億6千9百万円の決算について審査を行ない「認定すべきもの」と第4回定例会に報告され、全会一致で認定された。

### 委員会報告の概要

一般会計ほか5特別会計の予算が堅実にして計画的な財政運営であったか、住民のニーズにこたえる行政サービスの提供に努め、行政水準の確保と維持、その向上を目指した積極的な財政運営であったかに審査の視点を置き、監査委員の意見も参考に慎重に審査を行った。

審査を通して、多様化する住民ニーズにこたえ、住民の生活向上そして基幹産業の振興等に向け、地方財政の厳しい状況下において、健全財政堅持に配慮し、行

政サービスの提供に努められたと判断した。

財政関係指数については、經常収支比率は前年対比3・5ポイント上昇、また公債費比率も前年対比4・4%の上昇をみており、今後の財政運営にとっても厳しい状況となってきたが、平成13年度は大旨計画的な財政運営であった。

また投資的経費は、前年比30・7%と大幅に減少している。

厳しい財政環境のなかでの歳出に大きな不用額が生じているが、諸般の事務・事業に取り組みされている姿勢が伺われ、一般会計並びに5特別会計とも健全に運

営されており、「全員一致」により、「認定すべきもの」と決した。

結果の報告にあたり、本特別委員会としては財政環境が厳しい方向に向かい、財政構造の弾力性の確保に心配な面があり、次の2点について意見が付された。

1 点目は起債について、公債費負担比率が23・2%となっており前年度の19・3%より3・9%上昇し、危険ラインを越えている。

特に平成13年度から平成18年度までは、10億円を越える償還が見込まれており、歳出において高いウェイトを占めることとなり、財政

全会計 歳入総額 8,169,796千円  
歳出総額 8,068,595千円

会計名	入ってきたお金	使われたお金	差引
一般会計	5,871,517	5,788,218	83,299
国民健康保険	584,534	580,736	3,798
老人保健	732,444	730,095	2,349
介護保険	668,430	656,675	11,755
簡易水道事業	48,374	48,374	0
下水道事業	264,497	264,497	0

構造の硬直化に不安が残ることから、今後の起債の活用には、慎重な対応と經常経費の一層の節減を求めたところである。

2 点目は、補助金について、公益上から判断され支出される補助金は、活動・事業等の一定水準の維持、若しくは施策推進上の必要性から交付すべき性格のものであり、一定の見直しを図り、対応されていると思われるが、今後の補助金の交付に当たっては、一般財源の主要を占める地方交付税の減少の流れのなか、補助効果を十分把握され対応いただきたい。



# 安全で美味しい水を… 水道事業会計 決算を認定

第3回定例会において産業建設常任委員会に付託され、10月24日に委員全員出席のもと決算の審査を行い、全員一致で「認定すべきもの」と本定例会に報告され、全会一致で認定された。

水道事業は、住民の快適な生活に直結していることから、常に清浄で安全な水を安定的に供給するために、水量の確保と水源保全に留意し、事業の経営効率化に努めたかに視点を置き、又、施設の老朽化や人口の減少が今後進むと予想されるなかにあつて、水道料の料金値上げも視野に入れて審査を行った。

なお、審査において次のとおり意見が付された。

財政面において、収益的収支の純利益は前年度より減少しているが、係数的には努力していると認められ、経営指標も良好である。

なお、給水原価は、年間

利用水量の減少等により上がっており、施設の老朽化に伴う維持管理経費が増加していく現状にもあることから、一層の経営の効率化に努めていくよう求めた。



24時間体制で安定供給を

## みなさんの

## 請願・陳情

### 採 択

「季節労働者の雇用と生活安定を求める意見書」の提出に関する請願書

連合北海道美深支部連合会  
会長 濱田智昭  
紹介議員 小田中道雄

審査意見

この制度（冬期雇用援護制度）は平成13年度から15年度までの時限立法となっており、我が町も積雪寒冷地帯で働く場所の制限を受け、これらの制度はなくてはならないものと判断し、全員一致で採択すべきものと決する。

### 意見書を国に提出

町村自治の確立に関する意見書

提出者 諸岡勇  
賛成者 山崎晴一  
" 酒井久夫  
" 吉田実  
" 小田中道雄  
" 今泉常夫

提出先

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・経済財政金融担当大臣

森林による温暖化防止などの施策の推進に関する意見書

提出者 倉兼政彦  
賛成者 宮岡久夫  
" 園部幹雄

提出先 " 林寿一  
" 斎藤和信

提出先 内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・環境大臣・農林水産大臣・経済産業大臣・国土交通大臣

季節労働者の雇用と生活安定を求める意見書

提出者 倉兼政彦  
賛成者 宮岡久夫  
" 園部幹雄  
" 林寿一  
" 斎藤和信

提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・厚生労働大臣

提出者 倉兼政彦  
賛成者 宮岡久夫  
" 園部幹雄

# 質

# 問



山口 議員

### 質問事項

- 1、市町村合併問題について
- 2、学校給食問題について

## 中・高生まで 対象に住民投票を

**質問** 11月末に開かれた全国町村長大会で「市町村合併問題についての緊急重点決議」が採択されたがその内容を町民に説明頂くと共に、決議に対する町長の率直な見解を伺う。

12月6日付で全国町村議長会より「西尾私案粉碎プログラム」が発表されたが2月25日に町村会と共同して「町村自治確立総決起大会」を開催する。47都道府県で地元選出の国会議員に対し文書で「西尾私案」に賛成か反対かの確認をとり、賛成の議員に対しては、来るべき総選挙において応援できない旨伝える等七項目の運動計画が発表されたが、この議長会の動きに対する町長のご見解を伺う。

また、合併問題に対する住民の意向を集約する方法として「住民投票制度」(条例)を設け、対象者を高校生・中学生にまで拡大することにはどうか。

## 今後の推移で 投票条例の制定を

**町長** 町村長大会では合併を強制するな、小規模町村切捨ての「西尾私案」を採用するな、国庫補助の廃止など地方への財源負担を強化するな、地方交付税のもつ財政調整・財源補償機能を堅持せよ、という内容で採択され、中央に対して運動を展開している。ただいま全国議長会の運動プログラムを紹介したがが大変心強いことだ。

町長としては、合併をした時どういふ問題があるかを町民に広く示し、美深町が残ることを前提に住民の意見を反映しながら慎重に対処していく考えでいる。

住民投票制度については、それも一つの方法であるが、情報の少ない今の段階では住民も的確な判断が出来ないと思う。

これからの合併の推移によつては、条例を制度化しながら住民意向を聞くといふことも議会と相談していく必要があると思う。

## 論を待たない

### 川西交差点の改善

**質問** 美深大橋を越えた川西交差点の改善について伺う。

国道、道々、町道3車線が交差する地点に、近々歩道橋が付くと聞く、車両でさえ不便な地点、人々の通行を考えると、はっきりとした四つ角の交差点にし、信号機をつける可きは論を待たないではないか。

## 地形上の

### 問題あるが努力

**町長** 交通安全上、相当前から要望されていた。

歩道橋は大橋の北側に付く、歩行者が安全に渡れる交差点にどの様にするかは開発、土現、警察、公安委員会、町と協議中、住民が安心して通れる、車両も安心して通行できる交差点の改善に努力する。

### 質問事項

- 1、交差点の改善について
- 2、追い越し禁止区間の設定について



酒井 議員



「西尾私案」におどろく



# 般



倉 兼 議 員

## 質問事項

- 1、市町村合併と道州制について
- 2、住基ネットと個人情報保護について
- 3、財政見直しと農業振興について
- 4、鳥獣保護法の改正と対応について

## 小規模町村では残れないか

質問 市町村合併は、人口規模だけを基準とするのではなく、北海道地域事情に即した検討が必要とする道知事の見解が示されたが、中川郡二町一村の研究会の立ち上げを含め、現状における町村合併に対する町長の所見と、道州制については国の地方制度調査会や北海道道州制検討懇話会で検討されている課題だが、合併議論において広い地域の北海道として選択する方法ではないか。

その事が小規模町村としてでも、美深町が残る一つの方策ではないだろうか。

## 住民意向を踏まえて

町長 町として残る方法があるなら残りたいが、情勢から判断すると財政面等大変な状態になるが、それだけでは合併議論は出来な

いと思う。  
町村合併をするにしても過去の合併のようなみじめな状態になることのないよ



歩道が待たれる川西交差点

## 事故の発生が心配区間

質問 追い越し区間の設定について伺う。

国道40号6線〜7線間、北側9線〜10線間の地点は事故の発生が懸念される。過去の発生と、市街地を通り抜けた途端追い越し車両があると聞くが、再度その地点の禁止設定は出来ないか、一線間が無理であれば南、北半線区間でも出来ないのか。

## 必要ならば要請も

町長 両区間とも規制されていた時があったが、その後見通しが良くなって解除された。

一方9線〜10線間は、国の各種規制緩和の流れによって解除された。

あまり禁止区間があると運転者のいらだちで、むしろ事故が起きる事もある。公安委員会、地域の方の要望を聞いて必要であれば要請するが、地域との話し合いの間をとりたい。

う、住民意向を十分に考えながら、話し合っていくたい。

北海道は広すぎて分県論が論議されたのはつい最近。道州制は、地域が生きるためには一つの方法、これから十分に検討する。

## 個人情報の保護は？

### 個人情報の保護は？

質問 住基ネットの個人情報ICカードを利用して、地方自治体で独自の住民サー

ビスを行う事ができるがその考えは。  
また、これらと同時に個人情報保護条例が必要になり、その取り組みは。

## 3月に条例提案

町長 ICカードは、町民の希望によって交付する。現在は、住民票のみとしたい。

保護条例については、3月議会に提案したい。



合併協議の行方は？



今泉 議員

質問事項

- 1、農業推進について
- 2、中心市街地活性化基本計画について
- 3、林業保養センター(美深温泉)の浴槽改修について

### 市街地活性化計画の

### 取り組みは

質問 策定委員会が平成12・13年の2ヶ年かけて検討された、中心市街地活性化基本計画案が町長に提出されているが取り扱いと、この計画を実施するため、事業主体としてTMOを立ち上げることになっているがその取り組みは。

### 具体的な動きに なっていない

町長 基本計画の事業主体を商工会が担当してTMOを立ち上げることとし、方法論で意志統一されているが、現下の経済情勢から相当の資金を投資する事の問題等から、具体的に結成への動きになっていない。

質問 道とは協議しているのか、一日も早く市街地活性化事業の取り組みを商工会はじめ関係機関と協議し、前向きな姿勢で対応すべきでないか。

町長 計画は道に出しているが、この計画に基づいて具体的に出すのはこれからで、まだ時間がかかる。

### 農業法人化の

### 指導体制は

質問 町が職員を農業法人関係の専門研修会に派遣させている事は前向きで評価できるが、現在の農業振興センターのなかで指導体制がとれるのか。

### 積極的に

### 取り組みたい

町長 農業振興センターで農業法人に関する窓口相談を担当するが、産業課の中の振興センターであるので十分連絡を取り合い、農家の方がどちらへ行ってもわかるように対応したい。

質問 農家のアンケート調査によると経営の展開方向として法人化への取り組み意向が57戸ある。

一歩も二歩も進んだ考え方で行政も推進すべきでないか。

町長 法人化したいという希望は農家の前向きな姿勢だと思う。

法人化に対する指導等は積極的にやる必要があり、法人化が進んでいく場合は十分対応できるように検討したい。

### いつまで続ける

### 山村留学

質問 当初、里親制度の受入れ、過疎になる地域の活性化を求め平成3年より山村留学を取り入れて学校の存続を思い、少なくなる学童の教育の向上と効果、地域の活性化を考えての山村留学の実施であった。私も賛同した一人である。しかし、現状は初期の目的と違ってきたと思う。また、ホスターホームの改修、校舎の改修はどの様に考えているのか伺う。

### 希望者がいる間

### 継続する

町長 仁宇布地区の人口減少に伴い生徒・児童数減により、里親制度を導入したが、地元からの強い要望があり仁宇布小中学校に山村留学制度を取り入れ、学校を存続するための措置であり、12年間で全国より146人の留学生在が入学して、大きな成果を挙げている。希望者がいる間は継続を考え、施設の改修は十分見極め検討していく。



市街地の活性化を（福びき風景）

質問事項

- 1、山村留学について
- 2、新規就農者実習生の宿舍対策等について



園部 議員

## 幼保一貫教育

### 平成16年から

質問 幼稚園・保育園は平成16年より幼保一貫教育となる。

町長と教育長に伺う。

教育長 16年度に完全な一元化を目指して対応していく。

14年度も合同運動会・合同発表会も実現でき、職員

の月1回の交流も成果を挙げています。

明年は職員によるプロジェクトチームが施設改修・教育内容・保育形態といったことを検討する。

町長 幼保一元化は多年の懸案、総合計画にある方針です。

設計予算程度は要求があれば議会に提案し、積極的に進める必要があると思う。

質問 13年には、職員の幼保合同研修も実施、今年に入り合同運動会、発表会が行われ一元化に向けての取り組みは進んでいるが、色々な批判・苦情がある。一元化に向けた、保護者への対応は。

教育長 合同で行った行事のなかで、運動会ではグラウンドが狭く問題だとの意見、発表会については一切聞いていない。

今後保護者に対する説明が不足なら積極的に説明していく。



菅野 議員

#### 質問事項

- 1、幼保一元化について
- 2、学校改築について
- 3、町内会、自治会の区画について



山村留学視察  
(ホスターホーム)

## 今後の自治会体制と 区画の見直しは

質問 財政も今後厳しくなると思われ、各自治会の体制強化が必要ではないか。

町長 自治会組織は、公約で行政組織から町民に理解を頂き、平成元年に今の組織に変わり14年になる。人口の減少を考えると自治会組織を見直す時期もきていていると思う。

質問 自治会の区画割に

## 新規就農者実習生の 宿舎対策は

質問 農業労働者の減少農村高齢化の担い手不足問題、今後更に深刻化する。平成13年第4定例会で一般質問したが、「空き家対策、農協関係者とも相談、建設労働者の不足に伴う受け入れと合わせて検討する」と前向きな答弁があったが具体的な検討結果は。

農地あまりの現状が出てきた、今後増える予想。今の改善組合機能での対応で十分と考えているのか。

## 恩根内施設を 活用

町長 農業労働者の受入れ対策、今も実習生を受入れ引き続き検討する。町の考え方は恩根内にある施設を活用する意向で、農協と話し合っている。

どの様に活用して、どう改善していくか具体的に検討する時期に来たと思う。農地あまりをどうするか。できれば菅農集団の中で話し合い、進まない場合は改善組合連絡協議会・農業委員会と連携を取り検討する。



幼保合同発表会 (COM100にて)





藤 守 議 員

質問事項  
1、行政改革推進の進捗状況について

### 進んでいるか

#### 行政改革

質問 行政改革大綱推進計画の今年度の進捗状況は職員からの提案制度が住民活動に生かされたか。  
町長 時間外勤務の縮減と時差出勤制度導入による経費の削減と制度の住民理解度は、職員の研修が充実強化されているがその成果は。

### 職員の創意工夫で 改革前進

町長 職員の提案については4件出ており具体化に向け検討している。  
時間外勤務については職員間の創意工夫により大幅に節減の見込みである。  
時差出勤は特殊勤務の職域に現在取り入れられているが、時間外勤務の縮減と職員の健康管理が目的であるが住民に理解できるように努めた

い。  
研修の成果は行政の仕事上での反映ばかりでなく住民と共にまちづくりを進めることが使命であり、職員には常に参加を促している。  
質問 職員定数はOA化により行政事務の効率化、合理化が図られてきているが定数削減の見通しは。  
町長 専門職員の採用とあるが現職員の隠れた能力や才能の発掘することが先決では。

町長 5年間で23人の正職員の減となっているが今後とも人口動向や、財政を見極め適正な定数管理に努めるが新規職員採用は最小限にとどめる。



諸 岡 議 員

質問事項  
1、改正農薬取締法について  
2、農業経営の確立について

多種多様な行政運営に専門職員の確保は不可欠であるが現況の財政では難しい。  
現職員の能力開発、適材適所の配置に努めたい。  
現在技術を持ったものはその立場で活躍しているが、優れた能力は是非住民に提供し協力するよう進めたい。  
質問 公共施設は住民の要望も組み入れ設置したが人口減、少子化現象などの要因で利用が減少してきているが利用者とその方策を

ともに考えるべきでないか。  
施設の民間委託を計画しているが方法は。  
町長 必要なものは事前

に利用者、関係者と充分連携を図り信頼の上に立った行政を進めることが基本で、充分協議する機会を作る。  
民間委託は経費、経営の合理化を図れるところから進めていきたい。

### 改正農薬取締法で 農家の実態は

質問 改正農薬取締法では無登録農薬を制限し、使用する罰則が新設され平成15年3月施行するという。町では各農家に調査をしたと聞くが対応を伺う。  
町長 9月に個人で輸入農薬を使用しているかどうか実態調査をした。  
罰則があるから駄目というのではなく、正しい農薬を使用するよう住民に周知していきたい。

### 安全農薬の 販売に力を

質問 登録失効した農薬の回収についてと保管場所の制約、管理状況を伺う。  
町長 保管方法は売る側が指導を徹底すべきで、来年3月まで行政としても検討し、過ちのない方法で対応する。  
質問 適用作物に定める農薬の使用基準、遵守方針と指導をどうされるのか。  
町長 農業改良普及センターと行政、売る側の農協等と十分連携を取り安全農薬販売に力を注ぐ。



進む行政改革

## 農業経営の

### 安定化対策は

質問 農業を取り巻く環境は厳しさを増し本年は異常気象により近年にない不作の年で、農家の努力が報われない年であった。

本町の基幹産業は農業であり、従って農業の振興施策が重要課題である。

減反施策の見直しが発表され、国の直接的関与のな

い減反施策が実施されると、離農が増し農地の流動化が進むと予想され、農家の低活力は町全体の低活力に結びつくと思う。

米施策の見直しを契機として、稲作、畑作、酪農、畜産を含めた美深農業の今後の経営形態を見直すチャンスと考える。

流動化による農地の集積を図り、共同経営等の大面積での経営が可能になり、資金の効率化、作業の効率化が図られ、特に農家の経済に重くのしかかっている農業機械の共同を強く進めべきと考える。

大面積によって完全な輪作体系の組める経営、適地適作の原点に返って安定経営を目指すべきであると思うが町長の所見を伺う。

### 経営形態の

#### 見直し必要

町長 一番頭の痛い問題ですが、農業は基幹産業です。米の政策大綱案が出されましたが、これは売れる米を作りなさいという事で、

町も元気がなくなる。米の政策大綱案が出されましたが、これは売れる米を作りなさいという事で、



美味しく安全なアスパラ

作っても売れないものは金にはなりません。

売れる農産物をどう作って経営が成り立つようになるかが、これからの大きな課題だと思ふ。

米の政策大綱がどの様に展開するか様子を見なければわかりませんが、転作農家を含めて、大変厳しい内容になると想像しなければならぬ。

個別完結型経営ではなく、共同経営若しくは法人化し

## 軽負担で

### 受入れ継続

質問 農業経営の確立について特に担い手の育成と労働力の確保・支援、新規就農の受入れ体制づくりの現状を伺う。

町長 農業の担い手をどうするか大きな課題で、受け入れる施設の充実が必要であり、実習生の受け入れについては対策協議会で対応してもらっている。

農家には余り負担をかける方法で、受け入れの継続を図っていく。

## 農畜産物の

### 販路拡大は

質問 農畜産物の販路拡大と地域のブランド化、高い付加価値をつける取り組みが必要と思う、今後の対策は。

町長 農業を振興するためには農畜産物の販路拡大に予算をつけ実施している。

質問 共同営農の促進と組織化の助長施策をどう進めるか伺う。

ながら経営する。

今後水稲経営だけで生きて行くという事にはならないか。

稲作ばかりでなく、畑作も含めてどの様な経営形態にして生き延びていくか、この難局をどう突破して行くか、大きな問題であり、難しい問題です。

農業者と共々に生きる事が出来る方策を考えていきたい。



役場職員も頑張った援農



村山 議員

#### 質問事項

1、農業経営の安定化対策について

# こんなことを 調査しました

## 委員会レポート

### 総務常任委員会

調査事項 市町村合併について

調査月日 10月30日

調査の内容とまとめ

1、中川郡3町村広域行政研究会の検討内容について  
本年6月の町村長会議で協議され、美深・音威子府・中川の3町村の職員により、「産業」「建設」「福祉」「教育」「住民生活」「総務」の6部会を設け、各分野の行政施策の現況をとりまとめ現状と課題を整理し、3町村での事務・事業の広域化の可能性についてまとめ、11月8日以降に町村長に報告されるといふ。

2、市町村合併を巡る最近の中央情勢について

・地方分権推進委員会：地方分権に市町村合併は不可避として推進方策について意見

・国の行政改革大綱：1、000を目標に合併を推進  
・小泉内閣：市町村を大胆に再編する、地方交付税を見直す、小規模町村の仕事

の領域を見直す

・第27次地方制度調査会：「地方分権の進展と市町村

合併を踏まえた21世紀の地方自治制度のあり方」を

検討課題（3月に中間報告を予定）

・基礎的自治体、小規模町村をどう考えるか

小規模町村機能補完をどうするか

基礎的自治体内の地域組織の制度化をどうするか

大都市と都道府県との関係

・自民党の地方自治に関する検討プロジェクトチーム

中間報告：特例法は延長しない

1万人未満の小規模町村の権限を縮小、窓口業務のみ残す

・地方交付税の割り増し措置等の更なる縮小を検討する。

### 社会 常任委員会 文教

調査事項

1、塵芥処理について

炭化施設の進捗状況

ゴミの搬出方法と炭化ゴミの分別

ゴミ回収日とゴミステーションの管理体制

調査月日 11月8日

調査内容

炭化施設の進捗状況は、現在（11月1日）の出来高64%で1月末か2月初旬試

運転の予定

炭化後の残灰の活用方法は、当初上磯セメント工場

で処理する計画であったが白紙となり、覆土材に活用

することを栗本鉄工所の責任で処理方法を考える。

ゴミの搬出方法と炭化ゴミの分別は、10月までに自治会や各団体等には説明会

を開催してきたが、再度説明の要望もあり住民に理解

されるよう努力していく。炭化ゴミについては回収

方法が個別回収となるので、事前に広報で案内する。

現在ゴミステーションは全町に198個設置している

が、地域住民の要望を自治会が取りまとめて町が設

置し、管理は地域住民であり、自治会衛生部によって

巡回指導も行っている。

調査のまとめ

12月からのゴミの搬出日は月曜日から金曜日の1日

減となり、現在でもゴミステーションが満杯状態であり、搬出日の厳守を住民に指導しなければトラブルの原因になる。

住民の要望でゴミステーション設置をしているが町の施設でもあり管理体制の指導が必要である。

ゴミ処理に係る経費を住民にPRし、住民がゴミの減量化に努力するよう指導すべきである。

ゴミの有料化は炭化ゴミ開始時に向けて検討すべきでないか。

減量化に努力するよう指導すべきである。



管理が問われるステーション



## 産業常任委員会 建設

### 調査事項

農作物生育状況調査

恩根内25線道路災害復旧

### 箇所調査

調査月日 9月26日

調査内容 農作物生育状況については水稲2件、甜菜2件、イチゴ、南瓜、小豆各1件の圃場とJA物流センターでは、生産物出荷と今年導入した急速予冷施設について、普及センター及び担当者より聞き取り調査を行った。

農作物の生育状況は、総じて7月下旬以降の低温と



平年を下回る小豆の作況 (9/26)

多雨によって、良い状況にはない。特に、水稲は不稔歩合が60〜70%に達しており、近年にない災害と言える。

また、小豆についても草丈、さや数、分枝数が著しく平年値を下回っており、南瓜においても着果数が少なく、果実の生育が遅れており減収は避けられない状況にある。

甜菜については、8月以降生育が順調に進み平年並となっている。

物流センターに出荷された馬鈴薯の中に空洞化したものがあり、商品として心配される点である。

### 調査のまとめ

7月下旬以降の低温多雨によって、麦類をはじめ農作物の収穫量は大きく減収になり、農家経済を圧迫する状況から資金対策を含め救済措置が必要である。

予冷施設については、設置工事中であり、稼働は来年からとなるが、有効に稼働し地域の特産品(Gアスパラ等)の生産振興を図っていたきたい。

恩根内25線道路について

は、災害復旧工事も完了しており、特に記することはなし。

## 議会運営委員会

11月12日

美深町議会委員会条例、会議規則及び運用例等の検討を行った。

## 議員投稿

新年明けましておめでとうございます。

早いもので議会に議席を得て、4度目の正月を迎えることになりました。



山崎 議員

介護保険の導入、生ごみ処理の広域化、地方交付税の削減、議員定数の削減そして市町村合併問題と、いろいろあった4年間でした。地方にとって大変厳しい、冬の時代になったと痛感することが多い毎日です。経済不況に財政難。

12月11日・18日

第4回定例会で審議する議案、追加議案、陳情等の取り扱い及び一般質問の内容確認のほか、会期、議事日程などの議会の運営について協議した。

## 広報委員会

12月18日・1月7日・8日・9日・15日

第4回定例会に係る議会広報第44号の発行に向け、編集会議及び起稿・編集・校正の作業を行った。

確実に進む少子高齢化と社会福祉の負担増。

これでは市町村合併論議が盛んになるのも当然の成り行きか。

はたして今年はどうなるのか、等々そんなことに想いをめぐらす正月と

確実に時代は変わりつつあります。

新年早々なので、少しでも明るい議員投稿にしなければと思っていたのですが、どうも申し訳ありません。一年の計は元旦にありと言います。

## 冬来たりなば 春遠からじ

なりました。

地方自治体、民間企業ともに、いままでの価値観や仕組みが否定され、生まれ変わることが求められる時代となりました。農協が合併を進めるなど、

ろうと。

窓の外に広がる雪景色を見ながら、いつまでも冬の時代がつづくわけではない、かならず春はやって来る。

冬来たりなば春遠からじ

この時代を生き抜く決意を新たに、今年一年また頑張ろうと。

# 私からの Message



第2町内会  
菅野 みづえ

結婚を期に美深に来て一年半が経ちます。その中で楽しい事や辛い事が沢山ありました。中でも子供の誕生が一番の喜びでした。平成13年11月長男を出産し、初めての育児に戸惑いながらも周囲の人達に助けられ、色々教わりながら夫婦力を合わせ一生懸命やってきました。その甲斐あって無事昨年11月一歳の誕生日を迎えることができました。それも束の間、12月に長

## 親と子の成長

ぶ事が沢山あり、少しは成長できたのではないかと思います。自分が親になって改めて両親への感謝の気持ちと尊

敬が大きくなりました。最近、幼児虐待などがテレビや新聞で毎日の様に報道されていますが、同様な頃の子供を持つ母親として絶対にその様な事はあってはならないと思います。その為にも私は何でも相談し合える友人をこの町で沢山作りたいと思います。最後にこれから、



川西自治会  
本平 征行

太平洋戦争のさなか、産声をあげ早6回目の未年を迎え、歳月の流れの早さに戸惑いながらも人生を振り返ると「何事にも一生懸命」と言ってきた事が、誇らしげに思うと共に、地域の人々・友人・知人等に励まされ助けられ、よくぞ60年と思う昨今です。一昨年国内で牛海綿状脳症(BSE)が発生し私共畜産経営者はかつて例のない苦境に立たされましたが、

## ソニアのひとり言

国による各種の支援政策、又北海道、美深町、JABふか等関係機関の支援をいただきながら、自らも経営努力によって再生産が出来

背けられて街全体に異様な空気が漂っていると言う。生産者は正確に表示するなど情報をきちんと発信し、命に関わっている仕事だという誇りを持っていきたいと思えます。今後は生産物にトレーサビリティ(生産履歴の追跡)を開示し、安全・安心の確保対策が導入され、消費者に喜んで食していただける様望んでいます。

## 編集後記

今年4月で私も議員の任期も満了になります。この4年間、議会広報を通じ町民の皆様に議会の出来事が分かって頂けます様、又、議会への関心が高まります様、心がけ編集して参りました。これからも議会広報を拝読頂きます様お願いします。

### 議会広報特別委員会

- 委員長 山崎 晴一
- 副委員長 斉藤 和信
- 委員 園部 幹雄
- 藤岡 千代子
- 諸守 清一
- 越智 勇

